

第六次富士市総合計画

前期基本計画（案）

第2部 各論

基本目標 6 魅力を活かし人と人を繋ぐまち

～修正案～

基本目標 6 魅力を活かし人と人を繋ぐまち

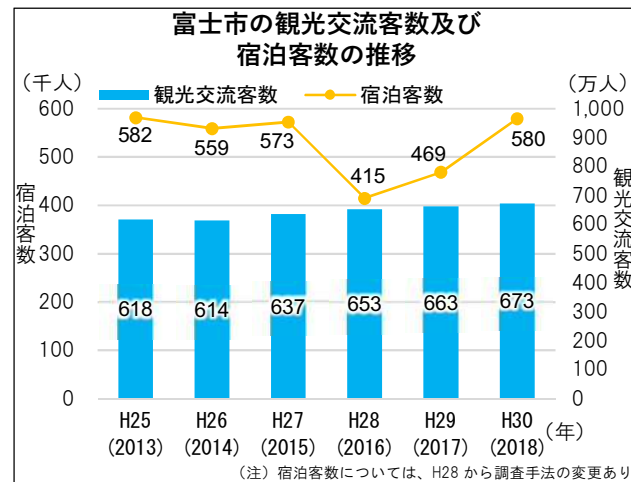
政策分野1 観光

■将来のまちの姿

「富士山」の魅力が最大限に活用され 観光交流が進むまち

■現状と課題

- 1 日本一高い富士山と日本一深い駿河湾の両方をもつ唯一のまちという他にはない強みや、大都市圏から人を呼び込みやすい地理的優位性を有することから、本市のポテンシャルを最大限に活かした誘客の推進を図る必要があります。
- 2 観光客は特定の季節やスポットに立ち寄るだけといった傾向が見られるため、周辺地域の観光資源と組み合わせ、通年において来訪者の増加や周遊消費につながるような取組が求められています。
- 3 インバウンドや旅行ニーズの多様化など、観光事業を取り巻く環境が変化している中、観光客の利便性や満足度を高めるため、受入環境を整備する必要があります。



■基本方針

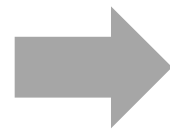
- 1 世界文化遺産・富士山を最大限活用した観光事業を展開していくとともに、効果的・広域的なPRやデータ分析などを行い、富士山活用の推進を図ります。
- 2 観光関係者と協働し、地域の観光事業の創出を促進するとともに、市外や海外から継続的に誘客できるように、周辺地域との広域連携を強化し、観光資源の活用と回遊性の向上を図ります。
- 3 観光客のニーズなどを踏まえ、利便性の向上や既存の観光事業の継続・発展などが見込めるような観光インフラの整備を図ります。

■成果指標

「富士山」の魅力が最大限に活用され 観光交流が進むまちである

現状 (令和3年度)

%



目標 (令和8年度)

%

■施策

1 富士山活用の推進



- 富士山登山ルート3776など、本市ならではの特徴を活かした取組を推進します。
- 富士山百景写真コンテスト、富士山百景写真展、富士山ビューポイントなど、世界文化遺産・富士山を活用した事業を展開します。

《主な構成事業》

富士山活用推進事業、富士山百景推進事業

2 観光資源の活用



- 田子の浦港や観光農園、工場夜景、地元特産品など、産業資源を観光に活かした事業の情報発信と誘客を進めます。
- 本市が有する歴史や自然、景観、湧水、祭りなどの魅力発信とそれらの特性を活かした誘客促進を図ります。
- まちの駅ネットワーク、観光ボランティアガイド、富士山観光交流ビューロー等との連携を強化し、観光客等へのホスピタリティあふれるおもてなしを推進します。
- 富士山周辺地域の観光関係者や自治体と連携し、民間主体による観光事業の創出や活性化に向け支援することで、地域全体で観光産業の底上げを図ります。

《主な構成事業》

観光基本計画推進事業、観光ボランティア推進事業、富士山観光交流ビューロー支援事業

3 観光インフラの整備



- 道の駅富士川楽座や道の駅富士の計画的な施設改修等を行うとともに、道の駅の積極的な活用を図ります。
- 観光客が増加している観光スポットを中心に、受入環境の向上を図るとともに、観光案内板、トイレ、駐車場などの整備を進めます。
- 国内外の旅行者の情報ニーズに対応できるよう、動画やウェブサイト、SNS等を積極的に利用した情報発信や継続的なコンテンツの更新を行うとともに、デジタルマーケティングなどにより観光に関するアクセスデータを分析し、効果的な事業展開を図ります。

《主な構成事業》

富士川楽座施設運営管理事業、観光施設整備・点検事業

■関連計画

富士市観光基本計画

基本目標 6 魅力を活かし人と人を繋ぐまち

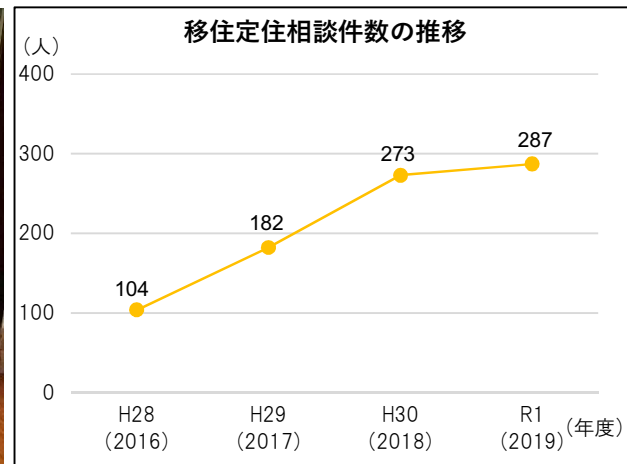
政策分野2 シティプロモーション

■将来のまちの姿

魅力や愛着を感じ だれもが住みたくなるまち

■現状と課題

- 1 少子高齢化や進学・就職に伴う若い世代の市外転出が進む中、市民のまちへの愛着や誇りを醸成していくことに加え、本市と多様に関わる関係人口の創出・拡大を図ることが求められています。
- 2 テレワークをはじめとした働き方の変化やライフスタイルの多様化が進み、東京圏在住者の地方への関心が高まっていることから、本市での暮らしの魅力を発信するとともに、移住しやすい環境づくりが求められています。



■基本方針

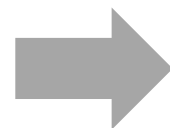
- 1 本市の魅力や個性を発掘・創造し、市内外へ発信するとともに、富士市ブランドメッセージ「いただきへの、はじまり 富士市」を活用する取組などにより、まちのブランド強化及び愛着と誇りの醸成を図ります。
- 2 移住までの段階や関心レベルに応じ、効果的に情報発信するとともに、移住前後の不安の解消や希望の実現に向けた取組を行い、本市への移住定住の促進を図ります。

■成果指標

魅力や愛着を感じ だれもが住みたくなるまちである

現状 [令和3年度]

%



目標 [令和8年度]

%

■施策

1 まちのブランド強化及び愛着と誇りの醸成

- ウェブサイトやSNSなど時代に合った情報発信ツールを活用し、本市の知名度や好感度、市民満足度の向上に繋がる情報を効果的に発信します。
- 富士市ブランドメッセージを活用した情報発信や啓発活動を行い、ブランドメッセージに込められた思いや意味の浸透を図り、富士市が好きな人を増やしていきます。
- 市内外でのミーティングやワークショップなどを戦略的に実施し、居住地に関わらず本市に様々な形で継続的に関わる人を創出・拡大するとともに、本市の魅力を語れる人や、まちのために進んで活動できる人、まちや人に感謝できる人の増加を図ります。

《主な構成事業》

シティプロモーション推進事業、ブランドメッセージ推進事業

2 移住定住の促進

- ウェブサイトやSNS等を活用し、本市での暮らしをイメージできる情報を発信するなど、移住定住プロモーションを効果的に展開します。
- 東京圏在住者のテレワーク等の普及やライフスタイルの変化などによる地方への移住定住の関心の高まりやニーズの変化を踏まえ、移住希望者への支援を行います。
- 移住定住に関する情報交換等を目的とした移住者同士の交流機会の充実を図るとともに、官民連携による移住定住応援体制づくりを進めます。

《主な構成事業》

移住定住推進事業

■関連計画

富士市シティプロモーション基本方針 ほか

基本目標 6 魅力を活かし人と人を繋ぐまち

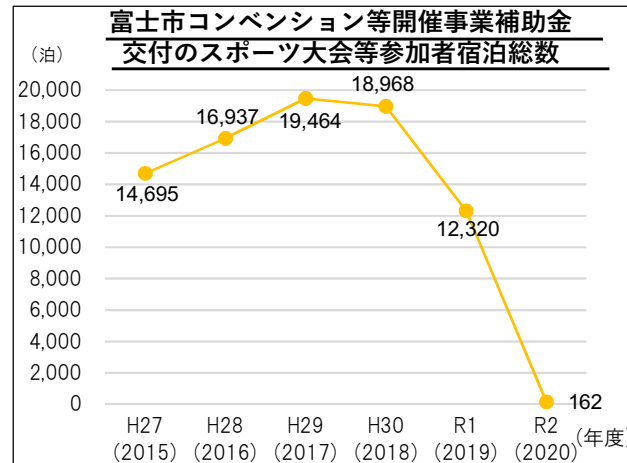
政策分野3 交流

■将来のまちの姿

国内外から人々が集い 多彩な交流が生まれるまち

■現状と課題

- 1 富士山女子駅伝やアルティメット全国大会など大規模なスポーツ大会・イベントの開催等による誘客や経済波及効果への期待が高まる中、官民連携によるスポーツ交流の推進が求められています。
- 2 ロゼンアターを中心に文化芸術環境が整い、幅広い文化活動が行われている中、文化芸術を通じ、地域の魅力向上や交流機会の創出を図る取組が求められています。
- 3 国際化が進展し、多様な文化に触れる機会が拡大する中、海外都市との交流の継続や新たな交流の創出など、地域の活性化に繋がる国際交流を進めることが求められています。



■基本方針

- 1 スポーツに適した本市の豊かな地域資源を活かし、全国規模のスポーツ大会・イベントを誘致するなど、スポーツ交流の推進を図ります。
- 2 本市の文化芸術活動の支援や魅力的な歴史・文化の発信などを行うとともに、様々な分野との連携を進め、文化芸術を通じた交流の創出を図ります。
- 3 本市と関係がある海外都市との交流を進めるとともに、民間の積極的な相互交流を支援し、異文化への理解を深め、国際交流の促進を図ります。

■成果指標

国内外から人々が集い 多彩な交流が生まれるまち

現状 [令和3年度]

%



目標 [令和8年度]

%

■施策

1 スポーツ交流の推進



- ▶ 全国規模のスポーツ大会・イベントの継続開催と新規誘致に向け、官民一体となって取り組みます。
- ▶ スポーツ大会・イベント等の会場となるスポーツ施設等の積極的な活用を図ります。
- ▶ 本市を拠点とするプロサイクリングチームとの連携や、本市を会場としたプロサイクルロードレースの定着化により、自転車を活用した誘客や交流の拡大を図ります。

《主な構成事業》

スポーツイベント開催事業、スポーツ交流推進事業

2 文化芸術を通じた交流の創出



- ▶ 本市の特色を活かした文化芸術活動や魅力的な歴史・文化を観光・国際交流・福祉・教育・産業などの他分野と連携することにより、文化芸術を通じた新たな交流づくりを進めます。
- ▶ 民間団体等が行う文化芸術イベントの開催を支援し、本市の魅力の発信やにぎわいづくりを進めます。

《主な構成事業》

芸術文化啓発事業、芸術文化助成事業

3 国際交流の促進



- ▶ 中国・嘉興市（友好都市）、アメリカ・オーシャンサイド市（姉妹都市）との交流を継続し、市民交流を進めます。
- ▶ 文化・スポーツ・経済団体などの相互交流を市民との協働により推進します。
- ▶ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックでのホストタウン等を通じ、本市と縁のある海外都市等との新たな関係づくりを進め交流を促進します。

《主な構成事業》

海外都市交流事業

■関連計画

富士市スポーツ推進計画、自転車活用推進計画、富士市観光基本計画、第二次富士市文化振興基本計画、富士市文化財保存活用地域計画、第二次富士市多文化共生推進プラン